

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

12月号 No.216

発行／熊本県農業者政治連盟

JA熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



旧細川刑部邸の大玄関（写真提供：熊本県）

細川家三代忠利公の弟、細川刑部少輔興孝が1646年に興した邸宅であり、全国有数の上級武家屋敷としての格式を持つ、県の重要文化財である。

主な内容

- ・農政連総支部・支部事務局員研修
- ・農政連総支部だより：八代総支部
- ・ガンバッテいます：木原義敏さん 那須由紀子さん
- ・各連合会からのお知らせ

せせらぎ

十一月はじめ、神奈川県警は、関東学院大学ラグビー部の部員二名を、大麻取締法違反で逮捕した。彼らは寮の自室で、ロックウール（石綿）に大麻草の種をまき発芽させ、大麻草十六本を栽培したという。

しかしながら、事件はこれだけでなく、ラグビー部員のレギュラーを含む十二名が一緒に吸引していたことが発覚した。

関東学院大学のラグビー部は九七年から十年連続で大学選手権の決勝に進出し、六回の優勝を達成するなど名実ともに大学ラグビー界の王者である。常勝軍団として名声を不動のものとしながらも、百五十名以上の部員一人ひとりの掌握ができなくなってしまったのだろうか。

同部の監督は辞任し、大学側は、来年の三月までの同部の活動を一切停止し、更に事件が拡大するようであれば、廃部する可能性も示唆した。

逮捕された学生は、大麻の種子を東京の渋谷で買い、更に同部の欧州遠征の際に英国でも買ったと自供している。

実際、渋谷の繁華街の雑居ビルの一角では、百種類ほどの種子が、十粒四千円程度から売られ、またインターネットからでも簡単に買えるという。

現行の「大麻取締法」では、大麻の栽培は違法であるが、種子の所持は違法とならない。このため、「標本用」「観賞用」として、大麻の種子を公然と販売できるのである。更に、ネットでは「押入れでの栽培方法」など簡単に入手でき、まさに大麻は野放し状態である。

今回の事件は、多くの人が大変な衝撃を受けた。この若者達は自らの未熟さを、真剣に反省してもらいたいものである。

農政連総支部・支部事務局員研修会



JA熊本中央会 澤村副会長の挨拶



全国農政協議会幹事長代理松岡公明氏による講演



鹿本総支部 芹川浩一事務局長

十一月五日、JA教育センターにて農政連総支部・支部事務局員総勢八十六名の研修会を開催した。研修会は、「農政連組織の再構築と機能強化に向けて」で県農政連事務局長木村幸孝氏により「農政連組織討議の考え方」、続いて「農政連鹿本総支部の活動について」を芹川浩一事務局長より話があった。午後から、「農政改革と地域農業のマネジメント」と題して、全国農業者農政運動組織協議会幹事長代理松岡公明氏より講演もあった。

農政連組織討議の考え方

(農政連の流れ)

三十三年十一月「熊本県農林漁業政治連盟」を結成、知事選を戦ったが、敗北。その後「農民代表を国会に送ろう」を合言葉に、三十六年二月「熊本県農民政治連盟」に改組され、会費は田、畑反あたり三十円、十五円であった。

その後、平成元年農政連公認候補

惨敗を受けて、中央会会長を中心に農業者を直接会員とする組織に改組され、新生「熊本県農業者政治連盟」が誕生した。

(全国組織に呼応した組織強化への取組み)

平成十六年に全中理事会が「農政運動組織強化方策検討委員会」を立ち上げ、全国に組織協議を呼びかけた。これを受けて本県でも平成十八年開催の第五回農政連委員会において、この基本方向を決定して今日に至っている。

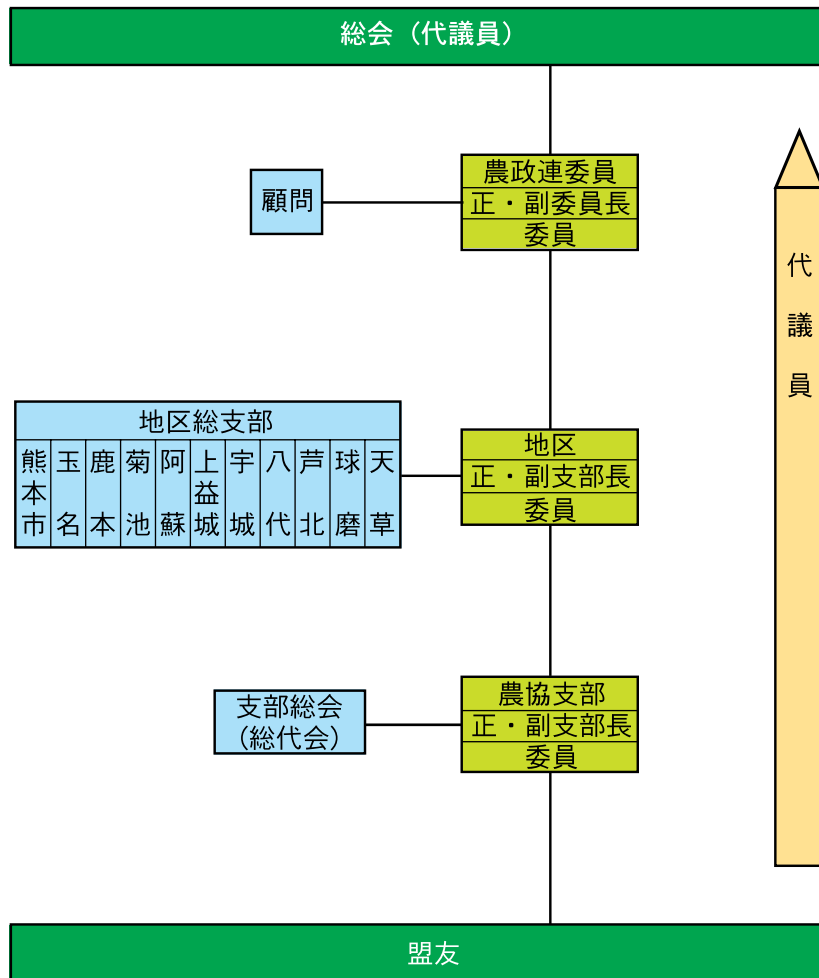
農政連鹿本総支部の活動について

(情勢)

現在の情勢を交えながら、米政策や品目横断的経営安定対策の見直しについて話があった。

(総支部・支部の構成)

総支部長一名(組合長)、副総支



（農政連委員会）

1. 地区総支部代表
2. 生産部会代表
3. 青壮年部代表
4. 婦人部代表
5. 農協連合会代表
6. 農業団体代表

（地区総支部）

1. 農協支部代表
2. 生産部会代表
3. 青壮年部代表
4. 婦人部代表
5. 農協役員代表
6. 農協職員代表

（地区支部）

1. 区域代表
2. 生産部会代表
3. 青壮年部代表
4. 婦人部代表
5. 農協役員代表
6. 農協職員代表

地区総支部										
熊本市	玉名	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	宇城	八代	芦北	球磨	天草

（情勢）
農政改革と地域農業のマネジメント
 米の価格下落に伴う緊急対策（備蓄の政府買い入れ三十四万トン、飼料用十万吨処理等）や生産調整の実行確保、品目横断的経営安定対策（十

（活動）
 主な活動としては、国会議員・県知事・県議会議員への公認・推薦に向けた組織討議や支援活動を行う。県主催の学習会への出席や青年部・女性部の合同学習会を開催。空き缶ポイ捨て禁止チラシの配付、幹線道路の草刈、空き缶拾い等をしている。このような活動を通じて農政活動の重要性・必要性の理解促進や参画意識を高めて、今後の農政活動を進めていきたい。

部長二名（常勤役員・生産部会代表）、顧問四名（国会・県議会議員）、委員（農協役員一名・支部長六名・生産部会代表八名・青年部一名・女性部一名・職員代表一名）の総勢二十五名で構成されている。さらに傘下の支部組織として六支部、支部の生産部会役員・組織の役員で構成されており、総支部・支部合わせて総勢一五八名である。



（農政改革と地域農業）
 今後の農業について、自ら考える地域農業と現場力が必要であり、米から水田農業の総合力、米と米以外の作物を含めた営農企画力、自立力が必要である。何のための担い手育成や集落営農なのか、地域農業の構造改革の目的を今一度考える必要がある。またJAにおいても地域社会、住民から支持共鳴され、地域にひらかれたJAづくり、つまりJAの内なる改革と社会的存在としての改革が必要である。

ラン対策の抜本的な制度見直し（対象作物の対象品目の拡大や分かりやすい仕組み等）の見直しについて、検証なり改善に努めていく必要がある。また、WTO・EPA交渉については、米国・EU・ブラジルの三すくみ構造であり、どの国も交渉を壊したと言う「悪者」になりたくない等の話を交えながらこれから本格的な交渉が続くものと思われる。

八代地区 総支部だより



4月28日開催の農政学習会

県下には、十一農政連総支部がありこの活動状況を、毎月順次紹介しています。

今回は、「八代地区農政連総支部」(加来誠一総支部長・J Aやつしろ組合長、上羽隆事務局長・J Aやつしる総支部長)を紹介します。

八代地区は、熊本県最大の河川、球磨川下流近くの坂本地区と河口に位置する八代平野、平家落人伝説がある五家荘の東陽・泉の山間部がその地域となります。八代平野はその殆どが、球磨川や氷川などの土砂の堆積物による遠浅の海岸を埋め立てて作った干拓地となっています。

また、九州三大祭の妙見祭が、毎年十一月二十三日に行なわれ、その神幸行列は、熊本県の重要無形民俗文化財に指定されています。

以前は、い草の栽培が多かったが、生活様式の洋風化と中国産の輸入により、作付け面積が最盛期の1/10に減少しました。

それに代わり「はちべえトマト」や「イチゴ」などの施設園芸や「ブロッコリー」「レタス」「ハクサイ」などの路地野菜の栽培が盛んになっています。またギネスで世界一と認められた「晩白柚」、東陽地区の「生姜」、吉野梨のブランドで出荷される「幸水梨」「豊水」「新高梨」など特産品もあります。

このように、八代地区では、平野部から山間部まで、それぞれの特色を生かした多種多様な作物が、栽培生産されています。

今年四月二十八日には、青壮年部と女性部が中心となり、合同の農政学習会を開催しました。また、五月にはWTO・EPA対策募金運動、十月には米麦政策等の緊急署名活動などの活動も行いました。

そして、青壮年部員は、食育に、小学生などを対象に田植えや稲刈り、野菜類の栽培指導などの活動を行なっています。

今後も、農業・自然環境への大切さを訴えながらも農政運動への理解を深めてもらえるよう活動していきます。

青壮年部が栽培指導した、ジャガイモの収穫



四月二十八日開催の農政学習会



五月三十日太田郷支所青壮年部の指導で唐芋の苗の定植



五月二十七日北新地支所・鏡支所の青壮年部が「ふる郷愛鏡祭」で行なったジャガイモ堀



木原 義敏さん



表情から温和な人柄がうかがえます

プロフィール

家族は妻、両親、子供三人の七人。

経営概要はスイカ百六十アール、トマト三十五アール、メロン六十アール。

●「自分で経営していくということ」

「自主的な気持ちで取り組まない農業経営はやっていけない」と話す木原さん。もともと農家に育ったこともあり、幼い頃から、農業をするものと思っていました。

そのため高校卒業後、すぐに実家で就農しました。木原さんはスイカの名産地、植木町山本地区であり、両親も昔からスイカを作っていました。

「農業に従事してからというものの、親に教わってきた部分もあるんですが、やはり自分で経営していく気持ちがないと無理だなと感じます。どんな仕事でも大変なんです、やはりその仕事で生活していくには時間もかかるし経験も必要。その時間を少し

でも早く早くするには、自分で状況を把握して、常に先を考えて行動していかなくてはなりません。」

●「雅友君が跡継ぎ」

現在、木原さんのところでは息子・雅友君が農業の跡継ぎとして、就農しています。雅友君には自主的に農業に取り組むよう、なるべく教えないようにしているそうです。「農家は自分で経営をしていかなければならない。最終的に頼れるのは自分だけです。」と力強く語られました。

●「農業の後継者」

雅友君が、跡継ぎとして就農しているように、山本地区は農家の後継者が熊本の中でも比較的多い地区です。

「この地区はもともとスイカの産地で、昔から農家同士の交流も盛んで活動も活発でした。そういう流れが今も受け継がれ、息子たちもすんなり農業に入っていけるんだと思います。」

●「ソフトボールも後継者？」

木原さんが入っている地元ソフトボールチームでは、後継者である息子さんたちも一緒に練習したり、大会にも出場しています。

仕事以外でも親子のコミュニケーションが盛んな部分も後継者が育つ理由のひとつです。

「農業の場合、親の仕事の間近で見る機会があり、親がそういう家庭環境を作つてやれば、自然とその方向へ向いていくものと思います。」

那須 由紀子さん

JAくまフレッシュミズ「ひまわり会」会長



電照菊栽培のハウスにて

熊本県の南部に位置する球磨群あさぎり町に、那須さん宅のハウスはあります。年末に出荷するための電照菊が、ハウスいっぱい蕾をつけていました。

●「農家の嫁として」

那須さんは、球磨農業高校（現南陵高校）を卒業後、岐阜県の紡績会社に就職し、働きながら短期大学を卒業。その後、熊本に戻り保育士として八年間勤めます。旦那さんと結婚したのを機に農業を始めました。

「高校で農家体験をしていたので、農業に対して構えることなくスーツと仕事に入っていました。」と結婚当初のことを話されました。

今は、三人の子供に恵まれ、子育てと農業を両立しながら、両親と旦那さんと四人で農業に取り組んでいます。

●「一から教わりながら」

那須さんのところでは、夏から冬に

電照菊を、春にメロン（肥後グリーン、ホームラン）を栽培しています。那須さんが、本格的に農業をするのは結婚してからで、一からのスタートでした。「特別な勉強はしていません。毎日、両親や夫に教わりながら仕事をしています。毎日が勉強ですね。」と、きつい時も楽しい時も、家族で共有できる今の仕事を楽しく話されました。

●「フレッシュミズ「ひまわり会」」

JAくまフレッシュミズ「ひまわり会」は、会員二十二名で、バスで行く研修会や旅行など幅広い活動をしています。

今年は、佐賀県にある大塚製薬へ企業見学に行くなど、積極的に活動に取り組んでいました。

このような大きな活動以外にも、小物作りや料理教室、ボーリング大会など子供達と一緒に、みんなが楽しめる活動をしています。

●「今後の抱負」

那須さんは、「ひまわり会」の会長だけでなく、熊本県フレッシュミズ部会の球磨地区代表もしています。

今後の抱負として、「みんなができる時間に、子供達と一緒にできる活動をしていきたい。農家の奥さん達が少しでも気晴らしできて、なおかつ、フレッシュミズできる場作りをしていきたいですね。」と話されました。

J A 中央会

37500人が来場

くまもと農業フェア&米まつり

くまもと農業フェア実行委員会とくまもとの米まつり実行委員会は、恵み育み楽しみくこれが熊本本の農業カーをテーマに「2007くまもと農業フェア&米まつり」を十一月十日、十一日の両日、合志市の県農業公園カントリパークで開きました。

会場では、県内J Aや物産館、農産加工グループ一〇一団体の旬の野菜や果物、特産品などを展示・即売。三七五〇〇人が来場し、くまもとの農産物や旬の味覚を味わいました。

各地のJ A女性部で作る、県内の農産物を使った地産地消「千人鍋」を、一杯百円で販売。両日とも長い列ができ、販売開始から一時間足らずで完売しました。



1時間足らずで完売した千人鍋

今年も協同組合間提携として青森県が出席。特産のリンゴやナガイモ、ニンニクなどを販売し、大好評でした。メインステージでは、元ドリフターズの高木ブーさんのウクレレ演奏や九州ハワイアン協

会とのジョイントでフラダンスショーで楽しみました。

主催者あいさつした園田俊宏中央会長は「熊本の大自然が育んだ農業のすばらしさ、大切さ、まさに熊本本の農業力を実感して頂きたい」と話しました。

舞夢フォーラム開催

J A女性協

J A熊本県女性組織協議会は十九日、合志市のJ A教育センターで二〇〇七年度「舞夢フォーラム」を開いた。フレッシュミズリーダーが、組織リーダーとしての役割や組織活動について学習するとともに、他組織との情報交換やネットワークづくりを行い、組織の活性化を図ることが目的。J Aフレッシュミズ関係者ら約百人が参加しました。

まず津家敏子同協議会長は、「フレッシュミズを後継世代と位置づけている。フレッシュミズの活動の促進、育成、強化につながれば」とあいさつ。フレッシュミズ部会活動紹介や、県フレッシュミズの主張コンクール最優秀賞受賞者の発表、講演を行いました。

フレッシュミズ部会活動紹介では、J A菊池の森由美さんら三J Aから、管内のフレッシュミズ部会などの活動や現状、課題を報告したほか、元高崎山自然動物公園勤務の環境カウンセラーの松井猛さんが講演しました。

J A 経済連

第九回熊本県畜産まつり

第九回熊本県畜産まつりが開催され、第一会場の熊本県農業公園では十月七日に種畜・飼料作物部門・畜産イベントが、第二会場の(株)畜産流通センターでは十月二十九日から十一月二日までの五日間、肉畜部門の共進会が菊池市七城町の(株)熊本畜産流通センターで開催されました。これは、県や(社)県畜産協会及び、県経済連、県畜産連、県酪連を会員とする熊本県畜産振興会主催。本県家畜の改良促進、畜産経営の安定、その意欲高揚を図るとともに、本県畜産の振興に資することがねらい。

畜産まつりには、県内J Aから肉豚一六八頭(四十二セット)、肉牛百六十頭(乳用種十一頭、交雑種三十四頭、褐毛和種四十一頭、黒毛和種七十四頭)が出品されました。肉豚部門では吉田秀一さん(J A菊池)、肉牛部門では松本辰昭さん(県畜協)がグランドチャンピオンに選ばれました。

表彰式の後に開かれたセリでは、グランドチャンピオン牛がキロ単価九〇〇〇円の高値で取引されました。

肉豚部門でグランドチャンピオンに選ばれた吉田秀一さん



◇肉豚部門▽金賞Ⅱ吉田秀一(J A菊池) ◇肉牛部門▽乳用種の部・金賞Ⅱ深浦憲吉(J Aたまな)▽交雑種の部・金賞Ⅱ松田浩(J A菊池)▽褐毛和種の部・金賞Ⅱ川俣孝昭(県畜協)▽黒毛和種の部・金賞Ⅱ松本辰昭(県畜協)

クミアイプロパン絵のコンクール熊本県大会表彰式



経済連は十日、熊本市内のホテルで平成十九年度クミアイプロパン絵のコンクール熊本県大会の表彰式を行いました。小学生の作画を通して、家族ぐるみの保安の重要性、クミアイプロパンへの関心を高めるのが目的。

県下五J A、二十小学校から七〇〇点余りの出品があり、熊本県図画工作美術教育研究会へ審査を委嘱し、低学年・中学年・高学年に分けて実施。特選九点、佳作十二点が選ばれました。各部門の特選受賞者は次の通り。なお特選については全国大会に出品します。

▽低学年の部Ⅱ片倉楓(馬見原小二年)、北みずき(白水小二年)、後藤史奈(蘇陽小二年)▽中学年の部Ⅱ友成凌奨(大浜小三年)、岩根大樹(両併小三年)、大倉克太(八幡小四年)▽高学年の部Ⅱ丸山薫(両併小六年)、石原遥(菊水中央小六年)、北ひかり(白水小六年)

五百人が熱戦!!

J Aバンク熊本・年金友の会グラウンドゴルフ大会

J Aバンク熊本（J A・J A熊本
信連・農林中央金庫）は十一月十四
日、パークドーム熊本で第九回J A
バンク熊本・年金友の会親善グラウ
ンドゴルフ大会を開催し、県内各地
区から年金友の会の会員約五百人が
参加されました。

開会式ではJ Aたまなの木下重行
選手が元氣いっぱい選手宣誓をさ
れた後、競技が開始されました。本
大会の参加者は、各地区での大変厳

しい予選会を勝ち抜いてこられた強
豪ばかりであり、熱戦が繰り広げら
れました。A・Bブロックに分かれ
て競技をし、左記の方々が入賞され
ました。

表彰式を終えた後、J Aやつし
の西浦晴雄選手により、来年もまた
元氣で再会することを誓い、力強い
万歳三唱で締めくくっていただき、
本年度の大会も大盛況の中、幕を閉
じました。

成績 (敬称略)

順位	Aブロック		Bブロック	
	氏名	JA名	氏名	JA名
1	三池 秀	菊池	加藤 誠	熊本市
2	松崎 成美	あまくさ	佐々 重弘	菊池
3	藤原 恒雄	たまな	平岡 尚	あまくさ
4	小林マツノ	やつしろ	光田 境	あまくさ
5	坂本 清一	熊本市	川部 弘良	くま
6	堀 義徳	鹿本	中尾 静子	菊池
7	石原 一美	熊本市	竹下 清子	くま
8	畑田 武敏	かみましき	高橋喜久代	熊本うき
9	永野 圭二	本渡五和	寺本 弥富	熊本市
10	佐藤 節夫	阿蘇	浦川 一男	たまな



元氣いっぱいのプレー!



見事、入賞された方々。

電話で気軽に、健康と介護のアドバイス

J A共済の健康・介護ほっとライン

J A共済では、健康や介護、育児
についての悩みごと、気になること
を看護師や介護支援専門員、医師な
どが直接電話でお答えする電話サー
ビスを実施しています。

生活習慣予防や肥満などの生活全
般の健康相談、医療機関の情報提供、
介護リハビリなどのご相談を、経験
豊かな専門スタッフがフリーダイヤ

ルでお受けします。医師（精神科・
診療内科を除く）による専門的な相
談も利用時間内であればいつでもお
受けします。（予約になる場合もあ
ります）

また、お名前はお伺いしませんの
で安心してご相談いただけます。お
気軽にご利用ください。

◆安心の4つのポイント◆

1. 相談料・通話料とも無料です。
2. お名前はうかがいせんので、プライバシーが守られます。
3. 経験豊かな看護師や介護専門員（ケアマネジャー）がお答えします。
4. 医師（精神科・心療内科を除く）による専門的な相談も利用時間内であればいつでもお受けします。

※ 予約になる場合もございます。

◆こんな相談が寄せられています◆

- ・ 血圧のことが気になる。
- ・ 子どものアトピーを何とか和らげたい。
- ・ いま飲んでいる薬について教えてほしい。病院では聞きにくくて。
- ・ 介護をしていて不安なことが色々ある。どうしたらいいのかわかる話を聞いてほしい。

電話相談サービス

フリーダイヤル 0120-481-536

利用時間 月～金曜日(祝日を除く) 午前9時～午後8時

料 金	相談料、通話料ともに無料
健康・介護相談員	看護師、介護支援専門員(ケアマネジャー)
専門相談員	医師(精神科・心療内科を除く)

※ 携帯電話やPHSからもご利用いただけます。
※ お名前をお伺いせんので安心してご利用いただけます。

- 年頭の挨拶
- 20年度県農業予算・政策要請
- 農政懇談会

あとがき

●十二月は師走と言って、一年で一番忙しい月と言われ、毎年、この時期になると「今年の十大ニュース」と言うのがテレビや新聞などで取り上げられます。私なりに思い起こすと参議院選挙時の「年金や政治資金問題」、北海道土産の白い恋人や伊勢の赤福などの「偽装問題」等々、政治、社会面で明るい話題はあまり無かったような気がします。個々には、明るく楽しいこともそれぞれにあったでしょうが、これから先の社会保障、少子高齢化、環境のことを考えると不安になります。猪年もあと一ヶ月足らず。今年一年健康に過ごせたことを感謝。来年が明るい年になることを祈っています。皆さんも健康には、十分留意され、よいお年をお迎えください。

●盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本支所）へお寄せいただければ幸甚に存じます。

連絡先 熊本県農政連

電話 096-328-11284
FAX 096-326-15807

もっと大きく、たくましく、JAバンクで大きくふやそう。

JA冬のキャンペーン

実施中!

JAバンク 熊本

体験 発見

JAグループ熊本のテレビ番組

アグリウォッチング

食・営農・組織活動等の情報がいっぱい

RKK放送 毎週日曜日 午前10時30分～10時45分

12月・1月・2月放送予定

12・1月	2月
30日 平成19年度 JA熊本県青壮年部大会入賞者の紹介 (山鹿市)	3日 親子でレンコン栽培(宇城市)
6日 八朔と温州みかんの交雑品種「スイートスプリング」を紹介 (豊北郡津奈木町)	10日 第33回 JA植木まつり (合志市)
13日 食の安全・安心「トレーサビリティシステム」への取り組み (熊本県内)	17日 平成19年度 熊本県農業コンクール大会(県下全域)
20日 第32回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール表彰式 (県下全域)	24日 湯の里「平小城」で 農村体験ツアー(山鹿市)
27日 集まれ!新規就農者 (県下全域)	

JA熊本中央会

JA共済

誰もが「がん」に無関心ではいられない時代に。

“治すため”の保障を。JAの「がん共済」。

あらゆる「がん」の備えとして。

一生運の「がん」保障

がん共済

サンキューキャンペーン実施中! <http://www.3qja.jp>

●右記のアドレスでがん共済のお見積りサービス実施中 <http://e-service.ja-kyosai.or.jp/>
●詳しくは、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

07481050089

第33回

熊本の春の訪れを告げる緑の祭典

植木まつり

平成20年 1月26日(土) 2月25日(月)

午前9時～午後5時

熊本県農業公園【カントリーパーク】

JA熊本経済連